

介護人材不足の解消に向けての取組について

1 背景

介護保険制度を維持するため、介護人材の養成は国や県の業務として取り組んでおりますが、急速な少子高齢化の進展に伴う介護人材不足が社会問題となっています。

栃木市といたしましてもできる限りの対応が必要と考え、介護人材不足解消のために（仮称）栃木市生活サポーター（あったかいご員）養成講座研修を開催して、まずは国が示している介護人材のすそ野拡大を目指すこととなりました。

なお、この事業については、本年7月に市長が県に対して、事業化の要望を行ったものがメニュー化されたもので、栃木市が第1号として事業を行う予定であります。

【介護人材確保に向けた国の考え方】

- 持続的な人材確保サイクルの確立・・・人材の量的質的確保
- 介護人材の構造的転換（まんじゅう型から富士山型へ）
 - ・すそ野を拡げる・・・人材のすそ野の拡大を進める。多様な人材の参入促進。
 - ・道をつくる・・・意欲、能力、役割分担に応じたキャリアパスの構築。
 - ・長く歩み続ける・・・いったん介護職についての方の定着促進を図る。
 - ・山を高くする・・・専門性の明確化、高度化で継続的な質の向上を促す。
 - ・標高を定める・・・限られた人材の有効活用するため機能分化を進める。
- 地域の全ての関係主体が連携し、介護人材を育む体制の整備・・・介護事業者、都道府県など地域関係者の適切な役割分担。
- 中長期的視点に立った計画の策定・・・2025年を介護人材確保に係る目標年次として定量的な目標を定め計画的に進める。

2 事業名 （仮称）栃木市生活サポーター（あったかいご員）養成講座研修

3 目的 栃木市の介護のテーマである「あったかもちぎ」を実現するべく、養成講座研修を開催して、介護人材の裾野拡大を目指して、人材不足解消の一助になるよう開催します。

4 事業概要

○対象者は、30歳以上の介護未経験者

○1月中 研修受講者募集（栃木市）

○2月～3月にかけてあったかネットへ養成講座研修の事業委託

※あったかネットとは

栃木市地域包括ケア推進ネットワークの別名で、栃木市医師会、下都賀歯科医師会、栃木市介護支援専門員連絡協議会、栃木市特養連絡協議会等で構成されています。

○講座研修内容

基本研修20時間程度、介護技術向上研修30時間程度を予定

○講座研修メニュー

- ・福祉、介護についての基礎知識
- ・認知症高齢者の理解と支援
- ・医療の基礎知識
- ・基本介護技術
- ・栄養と調理実習
- ・訪問介護同行訪問 など

5 事業費 260千円（栃木県地域医療介護総合確保基金より）

6 その他 今後、市内福祉施設と連携をして、研修受講者が市内施設へ就労を希望すれば、市内施設へ紹介をして、介護職等として就労していただき、介護人材不足解消を図っていきます。

問合せ先：保健福祉部 高齢福祉課

担当 首長 正博

電話0282-21-2240